

## 平和願い、反戦誓う

天草市

## 戦争の記憶 子どもたちにつなぐ

## 戦跡・遺構を巡るバスツアー



高谷和生さん(中央)の案内で、熊本造船所跡地などを見学するツアー参加者=天草市

熊本市の旅行会社「旅のよろこび」と市民団体「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」は9日、天草市内の戦跡・遺構を巡るバスツアー「くまもと戦争遺産の旅」を開催した。10〜90代の23人が戦争遺跡について学び、平和の大切さをかみしめた。

同ネットの高谷和生代表(67)＝玉名市＝らの案内で、天草海軍航空隊の水上機を運んだ斜路跡や、終戦間際の空襲で民間人2人と近くに墜落した米軍機の搭乗員1人が「くまもと

た熊本造船所跡地などを巡った。高谷さんは「太平洋戦争末期の天草には、天草海軍航空隊や熊本造船所、富岡などに砲台が設けられるなど、沖縄に次ぐ決戦の地として準備が進められていた」と解説した。

熊本市西区の団役員、長井解子さん(88)は「幼少期に体験した戦争の記憶を思い出した。子どもたちに戦争体験を残していかなければならないと思った」と話した。

(清水映彩)